



8月を振り返って

暑かった8月が終わりました。ほとんどの自治体では、採用試験も終わり、結果の発表を待つだけです。人事は尽くしたので天命を待ちましょう。実習が終わった4年生は完成させた実習日誌を提出してください。この実習日誌は教師としての皆さんの一生の財産となります。私も教員時代、ピンチの時には実習日誌を開き「あの時これだけ頑張れたんだから、もっとできるはず！」と自分を奮い立たせた経験が何度もあります。文字通り汗と涙の結晶なのです。大切に保管しておきましょう。3年生は来年の採用試験に向けての準備を始める時期に来ています。今月からは教育実習事前指導も始まります。しっかりと受け止めてこれからの取り組みの流れを確認しておきましょう。また論文作成練習は早く始めれば始めるほど有利です。（作文力が身につきます）合格論文を仕上げるには、何度も書いて弱点をふさいでいくしかありません。書き方指導も致しますので、教職課程センターまでお越しください。

9月の予定

1年生：中旬【教職課程登録ガイダンス】 下旬【教職課程登録届提出・履修カルテ受領】

2年生：【予定は特にありません】 3年生：【教育実習事前指導】【教職課程センターへ登録】

4年生：【教育実習日誌提出】【履修カルテ提出】【教育実習事後指導】【教職実践演習】

全ての事務手続きについては、学務係から進め方について具体的なアナウンスがあります。締め切りが設定されているので、必ず期日を守って所定の手続きを進めてください。不明な点は早めに学務係で相談してください。

3年生向け 教員採用試験合格までのロードマップ

	個人の取り組み	大学の取り組み	教職課程センターの取り組み
9月	筆記試験対策勉強開始 教職教養・一般教養・専門教養	履修カルテ提出 教育実習事前指導	論文作成用資料作成配布
10月	受験自治体決定 論文作成開始	附属中高授業見学申込	個別面談
11月	論文作成		論文添削
12月	都内公立校実習校訪問	はしか抗体検査 都内公立校実習先決定	論文添削
1月	教育実習料振込	教育実習票配布	個人面接・集団討論資料配布
2月	個人面接・集団討論準備	教育実習許可条件確認	個人面接・集団討論練習
3月		都内公立校実習者がたのび	大学推薦募集 外部講師講義
4月	履修登録 論文作成期間	新年度がたのび 履修カルテ提出	論文添削
5月	教育実習準備	履修登録確認	論文添削
6月	教育実習	受験者名簿確認	個人面接・集団討論練習
7月	採用選考受験（1次）		個人面接・集団討論練習
8月	採用選考受験（2次） 私学適性検査受験		個人面接・集団討論練習 外部講師による個人面接練習
9月			
10月	合格発表		

採用試験を振り返って（後輩たちへのメッセージ）一部抜粋

- **採用選考に向けて、いつごろからどんな準備を行いましたか。**
 - ・3年生の夏休みから、教職教養の過去問研究を行った。教員養成セミナーに参加した。外部の試験を受けた。
 - ・3年生の10月ごろから専門教養の問題集に取り組んだ。青チャートで問題演習を行った。
 - ・3年生の秋から、論文作成に取り組んだ。
 - ・一次選考対策として、12月から専門と教職教養の過去問（10年分）を10回以上解いた。
 - ・面接練習は教職課程センターのスケジュールに従って、論文作成と同時に3年の2月から行った。
- **これから採用選考の準備を始める下級生に対して、これはやっておいたほうが良い！という取り組みを教えてください。**
 - ・過去問研究、受験する自治体だけでなくほかの自治体の過去問にも取り組んだほうが良い
 - ・本屋に行けば採用試験対策の参考書はたくさん売っている。でも限られた時間で対策するなら、過去問を何度も解いてみることをお勧めします。
 - ・特に専門教養は大学入試レベルと言われていますが、はじめから勉強しなすと時間がかかります。他の自治体の過去問を解いてみると網羅的に学習できます。また、学習指導要領に関する問題も対策できるのでお勧めします。
 - ・論文作成、個人的に一次試験で一番重視しているのは論文だと思う。論文がしっかりかけていれば、専門・教職の失点はカバーできる（ハズ）
 - ・自分の強みを作る。自分にしか語れない体験は面接を受けるうえでの大きな武器になる。
 - ・論文・面接・模擬授業対策は一人では難しい。教職課程センターの先生方の力を借りることで準備することができた。下級生の方々、感謝の気持ちを忘れずに、先生方に頼ってください。
- **採用選考の受験を通して、あなたの教職に対する意識はどのように変わりましたか。**
 - ・教員採用試験の勉強を通じて、教職に対する意識は高まったと思います。また、教員になりたいと強く思うようになりました。可否に関係なく、今後も教育に携わる仕事に就きたいと考えています。自分の中で大きな成長を感じています。
 - ・論文の重要性・自分の独自性というものの大切さを思い知った。
 - ・自分がここまで来られたのは自分の力だけでなく、周りの人の支援があったからこそ成し得たと思っているので、感謝の気持ちしか湧いてこない。

3年生対象：個別相談のご案内

教職課程を選択されている3年生の皆さん。いよいよ採用選考まで残り1年を切りました。今も昔も、採用選考は、「人物重視」で面接や集団討論、自治体によっては模擬授業が課されて、総合的に合否が決まります。そのため、各自治体の行う選考に合わせて、事前にしっかりと対策を講じる必要があります。（付け焼刃の知識では対応できません）できるだけ早く計画を立てて、準備を始める必要があります。

皆さんそれぞれ研究室での研究もあり、忙しいとは思いますが、教員採用選考を受験する方は、必ず教職課程センターへの登録を行ってください。一人ひとりの実情に合わせて個別最適なサポートができるように準備を進めていきます。

今後の流れ

- ①教職課程センターへのエントリー【登録用紙の提出】
- ②担当者との面談
- ③論文添削、面接・集団討論・模擬授業演習（個別対応）

教職課程センターでは、皆さんの合格をサポートするために様々な取り組みを行っています。サポートは原則として個別対応となりますので、サポートを希望される方は、必ず登録をお願いします。

教職 TOPICS No.6 社会人としての常識とは・・・？

皆さんはこれから教師として現場に出ていかれるのですが、教師以前に「社会人としての常識」を身に付けておく必要があります。以前ほどではありませんが「教師は世間知らず」「あいさつや電話の受け答えも満足にできない」との批判を受けてしまう教師もいるのです。保護者や生徒からの信頼を勝ち取るためにも、まずは社会人として必要な基本的な物の考え方や行動様式をしっかりと身に付けておきましょう。

時間を 守る

- ① 余裕をもって出勤する（始業 30 分前が目安、出勤したら出勤簿に押印する）
- ② 保護者との約束時刻を守る（5 分前には待っている）
- ③ 会議の開始時刻を守る（5 分前には資料を揃えて会場に入る。校内でも出張先でも）

提出物の期限を守る

残念ながら、これができない教師は非常に多いです。週案、報告書、実施案、調査など学校では毎日何かしらの文書の提出が求められます。一度で揃うことはまずありません。必ず締め切りに遅れて提出する教師がいます。そんな教師の信用レベルは落ちる一方です。

- ① 取り組むべき仕事の優先順位を決める（To Do List を作る）
- ② 優先順位は「内容の重要度」「提出期限が近いもの」を最優先にする
- ③ 作業時間は、学年・分掌への回覧時間や管理職のチェック時間も含めて余裕を持つ
- ④ 作業時間、段取り、先の見通しを持ち「いつまでに、何をやるか」スケジュールを組む
- ⑤ 管理職に、作業の進捗状況について経過報告を入れる（信頼感がアップします）

服装・身だしなみ

職場によって求められる服装や身だしなみの基準は違ってきます。学校では動きやすく活動的な服装がふさわしい場面もあります。また学校では生徒だけでなく、保護者も含め様々な人と毎日出会います。教員として地域保護者から常に見られていることを意識して、清潔感のある服装や身だしなみでいることは大切です。生徒に服装の指導をするという立場上、自分自身の服装が T・P・O に適ったものとなっているか、社会通念上適切なものとなっているか、生徒の前に立つのにふさわしいかどうか、自問自答してください。

- ① 派手な服装（柄物のシャツ等）装身具（ネックレス、ピアス等のアクセサリー）は控える
- ② 前髪が顔にかからない様にするなど、仕事にふさわしい髪形を心掛ける
- ③ つめは短く切る。ネイルアートは控える
- ④ Y シャツ、ジャケット、上着のボタンはきちんと留める
- ⑤ シャツの裾出しはしない
- ⑥ 目立つ色の髪のカラーリング、派手なメイク、無精ひげは控える
- ⑦ サンドルは履かない（緊急時に対応できない）香水は控える

あいさつ

あいさつは、人とのコミュニケーションの入り口と出口に必ずあるものと自覚してください。あいさつ無しでのコミュニケーションはそれ自体が問題です。誰に対しても、会った時のあいさつ、別れる時のあいさつを欠かさないようにしましょう。あいさつができる人は周りから大切にされます。

- ① 上司や同僚に会いに来た人に対しても、あいさつを心がける
- ② 来校者にも「こんにちは、どちらをお訪ねでしょうか？」と話しかける（セキュリティ対策）
- ③ 朝、笑顔で教室に入り子どもたちに「おはよう！」と声をかけるだけで、子どもは安心する